

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州いくさか 空のバリアフリー事業
事業主体 (連絡先)	生坂村観光協会 (役場振興課 0263-69-3112)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,984,404円 (うち支援金: 1,488,000円)

#### 事業内容

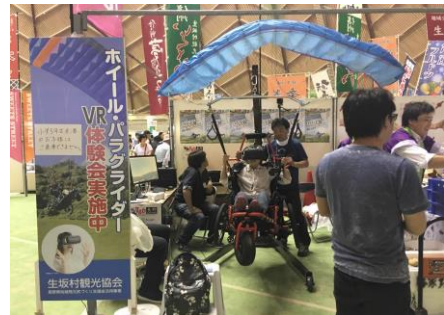
##### 1. 車いすパラグライダー体験の実施

○生坂スカイサポートの指導のもと、車いすパラグライダー体験を実施した。体験実施にあたり、村内のバリアフリー施設である村営やまなみ荘と連携し、宿泊パックを作成することができ、大勢の方が利用し、満足していった。

体験者数: 約20名

##### 2. VR動画の作成

車いすパラグライダーのVR動画を作成することができた。信州夢街道フェスタでは、視聴者に実際の車いすに乗っていただき、VR空間(仮想現実)を体験してもらうことができ、車いすパラグライダーの認知度を向上させることができた。



【目標・ねらい】

- ①アウトドアを活かした誘客
- ②車いすパラグライダー体験の実施
- ③関係機関との連携体制の構築

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 平成29年度より元気づくり支援金を活用して車いすパラグライダー備品の整備やPRを行い、参加者も増えてきた。平成30年度には、認知度向上を図るため長野県シニア大学や(公財)長野県障がい者スポーツ協会と連携し、高齢者や障がい者が体験可能なアウトドアスポーツとしてPRすることができた。
- ② 車いすパラグライダー体験の実施では、高齢者や障がい者の方以外に、健常者の方も大勢お越し下さり、不特定多数の方が体験できるので、観光PRに効果的であると感じた。
- ③ VR動画を作成したことにより、映像プロモーションに期待できるようになった。夢街道フェスタでは車いすに乗った状態で疑似体験を行い、大勢の方に体験してもらうことができた。

#### ※自己評価【B】

##### 【理由】

車いすパラグライダー体験の実施では多くの地元住民の協力を得ながら実施することができた。また、長野県障がい者スポーツ協会や長野県シニア大学と連携することができたことから、幅広い年齢層にPRすることができたと感じた。今後も、観光イベントを通じてより大勢の方に周知を図り、活気あふれる地域づくりに繋げていきたい。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

アウトドアというカテゴリーが、誘客に繋がる観光資源として確認することができた。また、身体に障がいのある方や高齢者でも体験が出来る車いすパラグライダーは、今までの常識を覆す魅力的な体験だと感じた。今後は、イベントを増やすことで誘客に繋がるが、イベントに頼らない方法で呼び込むための、観光地づくりに努めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある